



「問い」を発する子どもの育成に向けた取組

秋田県では、最重点の教育課題として、「地域に根ざしたキャリア教育の充実」と「問いを発する子どもの育成」を掲げています。今号では、「**問い**」を**発する子どもの育成に向けた取組**を紹介します。

「問い」を発する子どもの育成について

〔令和3年度 学校教育の指針〕（秋田県教育委員会）を基に作成

次に示すように問いを発する子どもの姿を定義付け、人材育成を行っています。

問いを発する子どもの姿とは

問題を発見し、他者との関わりを通して主体的に問題を解決していく子ども

将来、ふるさと秋田を支える人材へ

将来、自他の営みを積極的に工夫改善し、発信する「ふるさと秋田を支える人材」を育成する。

育成に向けて、次の3つの取組を行っています。

1 様々な教育活動における意図的な手立ての工夫

学級で

- 自主的な活動を通じた**互いを尊重する共感的な人間関係**の重視
- 自己存在感**を得る場や自己決定の場の設定の工夫 など

地域や行事で

- 生き方についての課題意識**を持たせる体験活動の工夫
- 様々な人々との交流を取り入れた**社会体験の充実** など

安心して他者と関わり合える環境を整える。

2 「秋田の探究型授業」の基本プロセスを機能させた授業づくりの充実

「秋田の探求型授業」の基本プロセス

学習の見通しを持つ

自分の考えを持つ

集団（ペアやグループ、学級）で話し合う

学習の内容や方法を振り返る

3 「問い」を発するための基盤となる言語活動の充実

言語活動を取り入れるねらいを明確にし、言語活動の質を高め、言語環境の充実を図る。

北陽中の取組について

「1 様々な教育活動における意図的な手立ての工夫」を紹介します。

「規律」と「共感」を大切に授業

規律

- ・相手に体を向けて、見たり聞いたりする。
- ・全員挙手で、自信度と理解度を示す。
- ・困っている人を必ず助ける。

共感

- ・相手の話すことに必ず反応をする。
- ・一人一人が「〇〇GOODさん」を目指す。（発言、反応、ノートまとめ、実技・・・など）
- ・全員で「学び合いGOODさん」を目指す。

「生き方」について考えを深めた修学旅行

写真は、世界遺産登録勧告をされた伊勢堂岱遺跡です。関係者の遺跡を守り価値を広める思いを学びました。



「防災」をキーワードにした地域連携

地域の課題を知り、地域の方々と共に防災活動を行っています。写真は、消火栓のまわりの雪かきの様子です。



萩原指導教諭のつぶやき



すべての授業で、全員挙手からスタート！

北陽中では、生徒会（学習委員会）が中心となって作成した「北陽中生の学びかた」という授業の手引きがあります。その手引きの中に、「全員挙手」があります。学習課題に対して、**全員が自分の考えを持ち**、その自信度や理解度をハンドサインで示して、共有します。「分かる」ときだけでなく、「分からない」「自信がない」こともしっかり意思表示をした上で、**クラスみんなで考えを補い合いながら、徐々にまとめていく授業**に、教師も生徒も一緒になって取り組んでいます。



全員挙手